

平成27年度

**わが家のすこやか日記
優秀作品**

平成28年2月18日(木)

岡山県教育委員会

お母さんのお手紙でがんばらなくて
「おべんとじい」

ぼくのおべんとじいじはうしろママの
おてがみがはいっています。

ぼくはおてがみがうれしいです。

おてがみにきょうのおやつがかいて
あるとおべんとじいよりたのしみです。

おべんとじいじらしいなものがはいっ
ていてもがんばってたべます。

倉敷市立味野幼稚園

山根 栞音さん

家族みんなで食べるよおいしーで賞

「きょりのおひなさん」

おかあさんがいそがしかったので、おとうさんとしょしょにそうめんをゆがしました。つくえにすわっておとうさんとおねえちゃんと、たべました。

おいしかったけどおかあさんがすわっていないから、いつもとちがいました。

とちゅうからおかあさんがきて

「つくってくれたんじゃなーありがとうございますありがとう。」

といいました。びっくりするくらいそうめんがおいしくなりました。やっぱり四人がいいな。もうちょっとまったら、よかったかな。

勝央町立勝間田小学校 第一学年

西元 和夏さん

すてきな家族の団らんで賞

「わがやのルール」

わたしのいえには、ルールがあります。それはノーメディアデーです。テレビを見ないことです。わたしはちょっといやだけど、いもうとと、おもちゃやピアノをあそびます。

なので、

「おなかすいた〜。」
と言いながらたべます。

そして、夜もノーメディアデーです。きょうあったことを一人ずついいます。みらいとおかあさんおとうさんでゲラゲラとわらいます。よるの時間はたのしいです。

「ごちそうさまー。」
「ハッハッハッハッハー。」

真庭市立中津井小学校 第二学年

大森 こころ さん

お父さんの優しさが伝わると

「お父さんのぎゅー」

お父さんは、仕事から帰ってくると
弟二人と私の三人を必ずぎゅーとか
わりばんこにだっこしてくれまして。
とても気持ちよくて、うれしい気持ちに
なります。それを見て、お母さんはい
つもわらいながら、

「うーらやましいわあ。」
と言います。

私は、これからもずっとおとうさんと
ぎゅーっとしてほしいです。

高梁市立松原小学校 第二学年

谷 美悠さん

お母さんの思いが伝わったで賞

「わたしの手紙」

私は、お母さんとけんかをしてしまいました。

私がクローゼットにいとなんとなくお母さんのけしよう箱を見たくなり、はっとしました。お母さんのけしよう箱に大事においてあるわたしの手紙がはいっていました。わたしは、なみだがでそうになりました。

わたしは、一生けんめいかじをしているお母さんを見て「あやまろう。」と心から思いました。

倉敷市立万寿小学校 第四学年

高下 紗季さん

おばあちゃんに感謝で賞

「おばあちゃんからの注意」

私の家では、いつもみんなでごはんを食べています。お父さんは仕事でいないのでお母さん、おばあちゃん、おじいちゃん、妹と食べます。ごはんを食べる時になると、私はとてもいやになります。「今日もまた言われるのかあ。」と。

私がおはんを食べているといつもおばあちゃんに「おぎょうぎが悪いよ。」と注意されます。私はそれがいやなのです。「気を付けているのに。」と思います。

ところがある日、私の友だちに「おぎょうぎがいいね。」と言われてました。

私は「これはおばあちゃんのおかげだ。」と思ううれしかったです。

おばあちゃんいつも注意してくれてありがとう。

倉敷市立万寿小学校 第五学年

松下 未侑さん

「伝えること」は大切に賞

「つたえる」

私の家でかならずやること。それは、自分が思ったことはすぐに口に出して伝えるというのをしています。

そのきっかけは、お父さんです。私のお父さんは私が一年生のとき、急になくなっ
てしまったって、私達が伝えたいこと、言っ
ておきたかったことなど、ぜんぜん伝えられ
なかつたのです。

とっててもこうかいます。だから、自分
が思ったこと、言いたいことは、伝えよう
！ということからはじまりました。

そのおかげで、今こうかいていること
はありません。これからも続けていきたい
です。

岡山市立妹尾小学校 第六学年

美藤 さくらさん

家族のアルバムは愛情のしるしで賞 「家族写真」

うちの家族は、私の誕生日や何かの
節目の日になると、きまって家族写真
を撮ります。

これは、私が生まれる前から続く家
族の行事のような物になっています。
撮った写真は一つのアルバムにまとめ
られていて、いつでも見られます。両
親が若いころの写真もあって。「こん
なだったのか：」と今との変わり様に
驚いたりもします。

この写真を見ると今までどれほど大
切に私を育ててきてくれたかが、もの
すごく伝わってきます。この愛情をい
ろんな形で恩返ししていきたいと思
いました。

岡山市立興除中学校 第三学年

石丸 海里さん

お父さんの宝物になったで賞

「父の日」

いつからか、父と話す機会もかなり減ってしまった。父の日も、ここ数年何もしていない。

そんなことをふと思い、久々にレターセットをとりだして手紙を書いてみた。少し恥ずかしかったが、父の日に渡した。

すると—あの父が泣いた。初めて見た。なんだか、恥ずかしさはもうなくて、うれしかった。

家族もずっと一緒にいられるわけじゃないし、自分の気持ちを伝えられることがこんなに大切に素晴らしいんだと思った。

岡山県立津山高等学校 第一学年

河本 明日佳さん

お母さんのすてきな子守歌で賞

「とーさんとかーさんの宝物」

六才と三才の娘たちに寝る前に毎晩必ず
「かなちゃんとなるちゃんは、とーさんと
かーさんの宝物じゃけんな。」
と言います。

布団に入って寝る準備ができると

「ほんなら言うて!!！」
と上の子が言うので、それが合図です。

一度で言うことを聞かず、怒られてふて
て布団に入った夜でもこの一言を言わない
と一日が終わった気がしない私です。何が
きっかけで言い始めたのか全く覚えていま
せんが、かれこれ二年半はたちます。この
一言が子守歌替わりのように安心して寝ら
れるうちは、夜勤はしたくないなあと思う
私です。

真庭市立天津幼稚園 保護者

今石 真理子さん

